

地元食の普及活動が評価



栗原市の「くりはら食ツーリズム研究会（小野寺麗子会長、会員10名）」が一般財団法人農村開発企画委員会主催の「第25回（平成27年度）食アメニティコンテスト」で「農林水産省農村振興局長賞」を受賞した。

このコンテストは、農山漁村の女性グループなどが自主的な

取り組みにより、地域の特産物を活用した活動で地域づくりに貢献している優秀な事例を表彰するもので、3月29日に東京都内で表彰式が行われた。

平成20年度に栗原市が行う事業の一環で、「食」に関心が高い市民を公募し、平成20年9月に「くりはら食ツーリズム研究会」を立ち上げた。

栗原の食の魅力を観光に活かすため、地元食材や郷土料理・家庭料理の種類、調理法など、調理実習や勉強会を通じて研究し、結果を取りまとめた。

平成23年に事業は終了したが、同年4月に研究会有志が任意団体「くりはら食ツーリズム研究会」を立ち上げた。

研究会は、これまで研究した「地元食」の情報・レシピをまとめた「地元食の本」を編集。現在も地域の食や、食にまつわる地域文化を研究し、イベントや体験プログラムで、「地元食」の提供や調理体験などを通じて、地域の魅力を伝える活動をしている。

